

教会創立102周年

週報

2025年5月25日 5343週

【 今年度のテーマ・聖句 】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—

わたしたちの一つの体は多きの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12章 4～5節）

教会暦の話①

少し変化をもたせるために、違う話題も取り上げようと思いました。そこで、「教会暦」の話です。「教会暦」とは、その名のごとく「教会の暦」「教会のカレンダー」です。「カレンダー」と言えば、1月に始まり12月に終わる、私たちが良く知っているあのカレンダーかと思いますが、教会には「別のカレンダー」、暦があるのです。これを「教会暦」と呼びます。

「教会暦」は、通常十一月の最終か十二月の最初の日曜日に始まつて、翌年の、その始まりの日の直前の日曜日に終わります。私たちもある程度は「教会暦」を知つており、用いています。例えば、十二月二十五日周辺にクリスマスを祝い、三月の末から四月末のどこかの日曜日にイースターを祝います。これをもう少し一年間に拡大したものが、全体の教会暦なのです。

なぜ、こんな別の暦があり、それを用いるのでしょうか。これは、必ずしも歴史的・時間的な根拠を持つているものではありません。イースターの日は、「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」となつており、これはイスラエルの「過ぎ越し祭」に合わせていますから、ほぼ「イエス・キリストの十字架の死から三日目」というのに合つているでしようが、イエス様が真冬の十二月の末に誕生されたという根拠はありません。

それでも、教会暦を用いるのは、主に次の二つの理由です。

- ①クリスマスとイースターだけでなく、一年を通して、イエス・キリストにおいて表された神の計画と業を覚え、意義深く一年を過ごす。

- ②（それによつて）この世の時間の流れとは違う、神の時と神の道があることを知り、それに基づいてこの世で証をし奉仕をして生きようとする。

次回から、具体的な教会暦の流れに従つて、その内容を見てまいりましょう。

卷頭言 牧師 加藤英治

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 酒井光子姉
奏楽 田中秀一兄

前 奏

招 詞 ホセア 14:3~5

頌 栄 668 (みさかえあれ(A))

主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)

交 読 37 (祝福)

讃 美 243 (墓の中にいと低く)

聖 書 ガラテヤ 5:1~14
(新共同訳 349p 口語訳 298p)

祈 祷

子供メッセージ 加藤英治牧師

讃 美 602 (まもなくかなたの) 聖歌隊

宣 教 「キリストを中心として回る」 加藤英治牧師

祈 祷

讃 美 510 (主の言葉の)

獻 金 祈り: 畠間節子姉
(女性会D班)

頌 栄 672 (ものみなたたえよ(B))

加藤英治牧師

祝 祷

奏 告

◎今月の聖句

「わたしは世の終わりまで、あなたがたと共にいる。」

(マタイによる福音書

28章20節b)

今月の当番役員

磯部みゆき 木村正美

本日の集会

教会学校

幼稚科・小学科 中高科

青年・成人科

9:30~10:15

主日礼拝の当番

受付: 船津丸泰 田中登美子
木村正美(当番役員)

お花: 藤田恒

会堂清掃 11:45~12:00

昼食 12:00~12:30

各部会 12:30~13:30

定例役員会 13:30~14:30

◎今週の集会(5月25日~5月31日)

<聖書> フィリピ 1:12~30

28日(水) 祈祷会 I 10:30

(奨励: 加藤英治牧師)

28日(水) 祈祷会 II 19:30

(奨励: 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

25日(日)	ガラテヤ 5:2~15	下川礼子
26日(月)	創世記 17:9~14	庄司 真
27日(火)	ガラテヤ 5:22~26	庄司まり子
28日(水)	マルコ 10:42~45	白石保子
29日(木)	フィリピ 1:3~4	世良聰子
30日(金)	I テサロニケ 5:16~19	世良優裕
31日(土)	ヨハネ 5:39	高崎 満